

Research on design evaluation system that pays attention to value of Kansei

曾我部, 春香
九州大学大学院芸術工学研究院

<https://doi.org/10.15017/13946>

出版情報 : 九州大学, 2008, 博士 (芸術工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

謝辞

筆者が、本研究へ取り組み、本論文をまとめるにあたっては、数多くの方々からのご支援やご指導をいただきました。簡単ですが最後にこの場をお借りして、謝辞を申し上げさせていただきますと思います。

まず、本研究に取り組むきっかけを与えてくださったのが、筆者の恩師でもある九州大学大学院芸術工学研究院の森田昌嗣教授です。平成 16 年度に文部科学省の科学技術振興調整費「戦略的研究拠点育成プログラム」に採択され、九州大学に“ユーザーを基盤とした技術・感性融合機構”（通称、九州大学ユーザーサイエンス機構）が設立されました。森田教授から本機構の評価・マネジメント部門（現、感性価値クリエーション部）の研究者となる好機をいただき、2005 年 1 月より本機構の研究者となり、本研究に着手しました。本研究への着手の後も、森田教授には研究の進め方など研究全般にわたるご指導をいただき、同機構の同僚である石橋伸介氏とともに本研究を推進していきました。石橋氏には、研究全般において常に協力をいただき、本研究のスムーズな推進については、パートナーに恵まれたところによるところが大きいと思う次第です。また、研究を推進するうえで、数多くの方々からのアドバイスやご支援をいただきました。主に指標の構築方法に関しては、九州大学大学院芸術工学研究院の池田美奈子准教授、同機構アドバイザーの井原恵子氏、爪丸登紀子氏に、最終的な指標の精査に関しては、九州大学大学院芸術工学研究院の田村良一准教授に、調査の実施方法や実施に関しては、同機構アドバイザーの徳永眞木子氏に、調査の分析方法に関しては、同機構同僚の北村真吾氏に多くの協力をいただきました。そして、調査において協力いただいた関係企業の方々、被験者として協力いただいた方々、ワークショップに参加いただいたデザイナーの方々にも、あわせて御礼を申し上げます。

そして、本論文をとりまとめる際にも、森田教授にはご指導と暖かいご配慮をいただき、同僚の石橋氏、九州大学大学院芸術工学研究院の佐伯謙吾助教、同機構の数多くの同僚の方々からご配慮をいただきました。また、論文の審査においては、九州大学大学院芸術工学研究院の安河内朗教授、清須美匡洋教授に的確なご指摘と今後の研究の課題などについてご助言を賜りました。

以上の方々に、この場をお借りして、心より感謝を申し上げます。

2009 年 1 月